

八戸工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	応用数学 I (4001)	
科目基礎情報							
科目番号	0189			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	建設環境工学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	微分積分2、高専の数学教材研究会[編]、森北出版、同 問題集						
担当教員	馬場 秋雄						
到達目標							
・微分方程式の意味（解）を理解する。 ・変数分離形、1 階線形微分方程式を解くことができる。 ・定数係数 2 階線形微分方程式を解くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
微分方程式の意味	微分方程式の意味（解）を確実に理解する。			微分方程式の意味（解）を理解する。		微分方程式の意味（解）をヒントを与えられて理解する。	
1 階線形微分方程式	変数分離形、1 階線形微分方程式を確実に解くことができる。			変数分離形、1 階線形微分方程式を解くことができる。		変数分離形、1 階線形微分方程式をヒントを与えられて解くことができる。	
2 階線形微分方程式	定数係数 2 階線形微分方程式を確実に解くことができる。			定数係数 2 階線形微分方程式を解くことができる。		定数係数 2 階線形微分方程式をヒントを与えられて解くことができる。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	数学の分野の中で現実の諸問題と関連の深いものの一つである微分方程式について、1 階と 2 階のものを学ぶ。線形微分方程式を中心に、解の構造を理解し、基本的な微分方程式が解けるようになることを目標とする。						
授業の進め方・方法	各回のテーマについて講義形式で説明をする。例題等で各々の方程式の解き方を紹介するとともに時間の許す限り問題を実際に解いて計算応用能力を養うことに重点を置く。教科書等に問の問題は各自復習を兼ねて学習する必要がある。なお、授業内容の確認のための小テストの実施や課題の提出を求める。						
注意点	微分積分学の基本事項を理解していることを前提とする。微分積分の理解が足りない学生は、しっかりと復習しなければならない。問題集の問題にも挑戦し、自力で解けるようになるまで学習すること。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	微分方程式とその解、1 階微分方程式—変数分離形				
		2週	1 階線形微分方程式（1）				
		3週	1 階線形微分方程式（2）				
		4週	2 階線形微分方程式（1）				
		5週	2 階線形微分方程式（2）				
		6週	2 階線形微分方程式（3）				
		7週	練習問題				
		8週	到達度試験 （答案返却とまとめ）				
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	到達度試験			課題・小テスト		合計	
総合評価割合		80			20		100
基礎的能力		0			0		0
専門的能力		80			20		100
分野横断的能力		0			0		0